

# 彙 報

## 第 38 回大会

天理大学図書館講堂において 5 月 24 日講演会を開催

形態論の立場から見た上代国語動詞活用組織

江 実氏

東南アジアの言語相

浅井 恵倫氏

## 関西地区研究発表会

5 月 25 日天理大学図書館講堂において開催 (p.p. 85 参照)

## 第 12 回九学会連合大会

5 月 10 日, 11 日上野公園国立博物館大講堂において開催。本学会よりの発表者

は: 共同課題「奄美大島」

服部 四郎氏

## 臨時講演会

6 月 10 日東京大学文学部法文系 36 番教室において英文学会と共催

Mycenaean Greek

J. Whatmough 氏

7 月 1 日東京大学文学部法文系 36 番教室において東大文学部と共催

アルタイ諸言語比較研究の方法論について

N. Poppe 氏

(尚, これらの講演内容は追って言語研究に掲載の予定)

## 評議員会・委員会

5 月 25 日天理大学において委員会を開催

1. 第 39 回大会開催地について
2. 九学会連合理事は徳川康元氏が事情により辞任されたので, 代って柴田武氏を推挙する。

7 月 2 日東京大学文学部言語学研究室において委員会を開催

1. 毎日新聞社, 階成会よりの学術奨励会に対する本学会よりの振薦者について (該当者なし)
2. 学術会議事務局刊行「研究論文抄録第 10 巻」に本学会より掲載する論文について (該当者なし)
3. 文部省科学研究費等審査委員を音声学会と 2 年交替とする件
4. 九学会連合来年度の共同課題「死」又は「山村」について本学会発表者は亀井孝氏に依頼する。又「学会展望」については小林英夫氏に依頼する。
5. 第 39 回大会の細目を決定

△本学会副会長金田一京助博士喜寿祝賀記念講演会が 5 月 3 日毎日新聞社旧館大会議室において開催された。

## 昭和 32 年度会計報告

収 入		支 出	
前年度繰越金	-2,554	印刷費	229,700
会費(現金)	64,264	発送費	22,615
"  (振替)	143,662	大会・講演会費	23,514
雑誌売上	24,890	事務用品費	10,884
補助金	90,000	通信費	17,863
利息	2,138	九学会費	3,000
		文哲史連合費	3,000
		雑費	8,700
		編集費	25,101
合 計	322,400	合 計	344,377
		差引残高	-21,977

「言語研究」のバックナンバーについて下記の各号は在庫品がありますから御希望の方にはお願い致します。

13号	¥ 150	〒 16	26.7号	¥ 500	〒 24
17.18号	¥ 250	〒 24	30号	¥ 250	〒 16
19.20号	¥ 270	〒 24	31号	¥ 250	〒 8
21号	¥ 150	〒 16	32号	¥ 300	〒 11
24号	¥ 250	〒 16	33号	¥ 200	〒 16
25号	¥ 250	〒 16			